

市制100周年記念事業



生誕100年記念

# 岩尾秀

# 樹展



—いのちのカタチ—

のびる  
それはいのちのカタチ  
それは光を求め  
生きている証し  
カタチ創る  
生きものの  
のびる力  
のびていく力って凄いな

2025

1.25(土) ▶ 2.24(月)

初日の1月25日(土)

11:00 オープニングセレモニー

11:30 テープカット・開場

別府市美術館

10:00-17:00

(入館は16:30まで)

観覧料 210円

主催：別府市・別府市教育委員会

問合せ：別府市美術館

別府市野口原 3030-16

TEL：0977-75-8710

休館日：1月27日、2月3日、10日、17日

画室より(1996年)

後援 NPO 法人大分県芸術振・別府市美術協会・大分合同新聞社・今日新聞社・NHK 大分放送局・OBS 大分放送  
TOS テレビ大分・OAB 大分朝日放送・CTB メディア・エフエム大分

別府市が市制施行 100 周年の記念すべき節目に、三好民郎氏はじめ多くの関係者のご尽力により「生誕 100 年記念 岩尾秀樹展」を開催する機会を得ました。

絵を描き続け、美を求め続けた画家・岩尾秀樹の世界（いのちのカタチ）に誘います。

生誕  
100  
年記念  
岩尾  
秀樹  
展  
—いのちのカタチ—

夕暮れの別府湾の美しさ  
昼間は輝いてまぶしく  
そのありかさ見えなかった別府湾の海景が  
しっとりとしみるような情感を伴って  
左から右へ  
東から西へ広がる空の下に息づいて見える  
この優しさ  
このひろびろとした開放感  
すべてを包みこみ  
あらゆる色彩を超えて深く沈む色調  
この世は  
夕暮れの訪れにホッとし  
深く呼吸し  
生のたのしみを確かめているように思われる

(緑陰のひとりごと「岩尾秀樹覚え書」より)



岩尾秀樹 (本名・三好秀樹)

- 1924 年 別府市に生まれる
- 1943 年 東京美術学校工芸科に入学
- 1948 年 宇治山哲平の知遇を得る
- 1958 年 国画会会員
- 1973 年 別府大学文学部教授
- 2013 年 別府市にて逝去(享年88歳)  
別府市美術協会名誉顧問



自画像 (1946 年)



遺跡メキシコ (1985 年)



夜の静物 (2006 年)



天空 06-1 (2006 年)



太陽と月 (2004 年)



二人ねむる (1955 年)



魚 (1989 年)



螞蟻 (1962 年)

【表の作品】  
画室より(1996年)  
193.9cm×97.0cm  
油彩、キャンバス



別府市美術館  
別府市野口原 3030-16  
TEL : 0977-75-8710